

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

〔取り組みの事実〕

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。（実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入）

〔取り組んでいきたい項目〕

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

〔取り組んでいきたい内容〕

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

〔特に力を入れている点・アピールしたい点〕（アウトカム項目の後にある欄です）

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族＝家族に限定しています。

運営者＝事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員＝管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム＝管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目（No.1からNo.87）とサービスの成果（アウトカム）の項目（No.88からNo.100）の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名 (ユニット名)	グループホーム中山の里 1階
所在地 (県・市町村名)	鹿児島市上福元町5933番地
記入者名 (管理者)	山澤 真知子 永野 洋子
記入日	平成 21年 10 月 26日

(様式1)

自己評価票

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを 支えていくサービスとして、事業所独自の理念 をつくりあげている	○基本理念そのものが地域で暮らし続けるための理念 でグループホームホームの原点です。○あなたがあな たらしく生きることを家庭的な雰囲気の中で暖かくサ ポートいたします。○あなたのあるがまを受け入れ て地域の中で普通の暮らしを送ります。○仲良く楽し く暮らせるお手伝いをします。		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践 に向けて日々取り組んでいる	○基本理念を職場の目標として管理者、職員は力 を合わせご利用者の自立支援に取り組んでいます。 ○ホーム内に掲示してあり毎朝の申し送り時は職 員で唱和しています。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続ける ことを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に 理解してもらえよう取り組んでいる	○基本理念を毎月のホーム便りに掲載しご家族の 皆さんにも基本理念の実践に取り組んでいること をお知らせしています。 ○施設入り口に掲示板を設置ホーム便りの掲示、 町内会の掲示板にもホーム便りを貼らせてもらっ ています。		
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ 合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような 日常的なつきあいができるように努めている	○母の日、夏祭り、敬老会等通じて地域の方々に 声かけしたら喜んで参加してくださり入居者の皆 さんとの交流を楽しみにして下さっております。 ○となりの畑の方より花、野菜の頂き物がありま す。		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員とし て、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加 し、地元の人々と交流することに努めている	○職員と共に子供会の夏休みラジオ体操参加、地 域の夏祭り参加、保育園との交流と常に地域の中 で暮らしていることを実感できています。 ○地域の中や近隣のホームでのお付き合いもあり 地域の一員として孤立することなく生活していま す。		○今年は夏祭りを夕暮れの頃より行い かき氷、スイカ割り、風船つりや盛大な 花火大会で近隣の方々にも好評でした。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	○運営推進会議で何か地域に役立つことはあるか検討し、民生委員さんの力を借りて母の日、敬老のお祝いに80歳以上の方に手作り赤飯を配り本当に喜んでいただきました。(15名)		○一人暮らしの高齢者の皆さん話相手がほしいことがよくわかりました。これからは訪問したり遊びに来て頂いたりして交流を深めます。○お返しに畑で取れたばかりのサツマイモを頂いたり交流を深めています
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	○自己評価、外部評価も今回で5回目です。マンネリにならないよう職員会議、スタッフ会議で評価の意義を理解して職員一同真剣に取り組みました。サービスの質の向上と自立支援に向けての取り組みで入居者様の安心、安全な暮らしを提供していきます。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	○地域の民生委員、町内会長、老人会、婦人会、家族、利用者様などに参加戴き、サービスの実際や行事、事故報告など行いご意見を伺っています。 ○自己評価、外部評価の報告ホーム内外の行事参加や利用者さまを交えて和やかにを行いサービス向上に努めています		運営推進会議での話から地域に貢献できることの話し合いで地域の80歳以上の皆さんに母の日、敬老の日に赤飯を配ることが出来ました。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	○保護の方が3名います。保護係りの方とは必要時相談を行っています。 ○介護相談員はいつでも受け入れます。現在まで4回来所戴いています。利用者様が相談されたことは検討して対応しています。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	○研修があれば職員の参加もよい勉強の機会として参加します。以前義理の親子間で後見制度の利用申請で病院受診、役所関係など協力しました。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	○高齢者虐待防止、身体拘束など起きないように勉強会をしています。 ○身体的なことのみでなく日常の言葉（言葉の暴力）使いにも職員同士でお互いに注意しています。		○年間研修予定表に基づき研修会を行っています。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	○契約前のご家族様やご本人に見学がてら来所戴き不安に思われることや解からないことなど無い か伺っています。 ○契約時は重要事項説明書に基づき十分な説明を行い納得を戴いてから契約を交わしています。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	○入居者様には困りごとは無いかな常に伺っています また、入居者の皆さんには遠慮することなく何でも言ってお下さる様をお願いしています。	○処遇会議を随時行い満足できるように対応しております。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	○毎月ホーム便りを発行し暮らしの様子や写真、会計報告、病院受診等を報告しています。 ○月2回居宅療養管理指導で病院の往診あり病状報告をしています。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	○ご家族の意見苦情はホームをより良くする貴重な意見として真摯に受け、すぐ対応できることは相談のうえ対処していきます。苦情箱の設置もあり職員や他の方から見えないところにあり、意見など入れやすいように配慮しています。	○なかなか苦情となると言えないのでは と思いこれからは相談ごとなど気軽に言えたり書く方法でアンケートなど考えています。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	○毎月の処遇会議、職員会議、スタッフ会議でスタッフの自由な意見や提案を聞き、運営に反映させています。参加できなかった職員には会議録で見てもらっています。 ○管理者は運営者と意思疎通を図り運営、経営共に伸びるよう努力しています。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	○利用者様の急な状態変化や職員の急な休みなど柔軟に対応し、それが出来る体制があります。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	○職員の離職、新規採用時は不安を与えることの無いよう紹介してより良い関係が築けるように業務を補ったりしており職員間の協力体制があります。 ○運営者は日ごろから利用者職員と良い関係が出来ており業務はスムーズに行えています。		
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	○人材育成のためグループホーム中山の里でも定期的に勉強会があり質の向上に努めています。 ○内部研修、外部研修の参加を奨励しています。		○年間研修予定表を作成しています
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	○谷山地区は福祉事業の多い区域で月1回の勉強会があり職員は進んで参加しています。近くに同業者が多く運営者職員は日常的に交流があります。 ○人材育成のため定期的に勉強会があり質の向上につなげています。		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	○運営者は職員の悩みや相談事をいつでも受け相談しやすいように努力しています。 ○管理者は職員に声かけを行い相談しやすいようにしています。また、定時に退社できるよう協力配慮しています。		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	○運営者は職員の働き振りを見て正しく評価しています。職員の資格取得に向けた支援を行っています。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	○相談の時点でご家族ご本人と逢い何を求め困っていることは何か良く伺い、不安の訴えには出来るだけ早く把握、解決できるよう努力しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	○見学来訪時にはご家族の求めている事不安なこと、日常生活の困りごとなどゆっくり話を伺い受け止めています。		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	○相談来訪時は切羽詰まった状況のときが多い。グループホーム満室のときはお隣の、デイサービスを紹介したり近隣のホームを紹介しています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	○入居者の希望が有った場合はご本人ご家族身近な関係者にホームを見学していただき納得して頂ける様に入居者の皆さんと一緒にお茶の時間を過ごしたりレクレーションの時間に参加していただいています。○入居後暫くは不安や緊張の中で過ごされていることを思い言葉かけやいろいろな場面で配慮しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	○年間を通し様々な行事などあり行事食は作り方を教えて戴いたり、行事の由来など聞いたりしながら一緒に作っています。		
28	○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	○ご家族は入居者の生活に欠かせない大切なメンバーである事を常々お伝えしています。面会時の素晴らしい笑顔には職員もかないません。		○面会に来られる度に近況報告をしています
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	○入居者の皆さんは家族のことを何時も気にかけていることを家族にも伝えており、これからもより深い絆で結ばれるよう支援していきます。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や 場所との関係が途切れないよう、支援に努めて いる	○入居前からお付き合いのあった方とのカラオケ 参加やスポーツ大会（身障者バレーボール他）な ど自由に出かけています。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤 立せずに利用者同士が関わり合い、支え合える ように努めている	○職員は利用者の不安な気持ちをしっかり受け止 め基本理念に（仲良く楽しく暮らせるお手伝いを します）添い孤立せず支えあうよう努めていま す。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的 な関わりを必要とする利用者や家族には、関係 を断ち切らないつきあいを大切にしている	○病院に入院され退院できなかった方には面会に 行き励まし再度入居できるように手続きしており ます。 ○なくなられたご家族の方も訪問してくださり入 居者様職員も暖かく迎え思い出話等をしていま す。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の 把握に努めている。困難な場合は、本人本位に 検討している	○利用者の思いや暮らしについて個別にゆっくり 話を伺い、ホームでの暮らしがよりよくなるよう に努力しています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生 活環境、これまでのサービス利用の経過等の把 握に努めている	○日々の会話の中でそれと無くどんな暮らしをし て居られたのか聞いたりしますが過去の事には触 れてもらいたく無いとはっきり言われる方も居り ます。 ○職員は一番充実していた頃の出来事を話題にし て話しやすい雰囲気を作り利用者様の理解に努め ています。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有 する力等の現状を総合的に把握するように努め ている	○毎日の記録、引継ぎ等から心身の状態、活動状 況生活リズムを総合的に把握しています。個別の カンファレンスや現状を話し合い記録し、全職 員が把握できるようにしています。		○看護師を配置し健康管理に努めていま す

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	○職員は利用者の視点に立って考えたり抱えている課題について気づいた事を出し合い記録して計画を作成しています。ご家族、入居前のケアマネ、医師にも相談しています。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	○状態変化時には（入退院時等）担当学会議を開き状態に合わせた計画を作成している。 ○本人がより良く暮らせるようにご家族にも意見を伺ったりしています。	
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	○日々の記録引継ぎで状態把握に努め変化があれば話し合い情報の共有に努め実践や介護計画に生かしています。 ○個人の支援記録、日常の記録、排泄、食事記録等を活用し実践にいかしています。	
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	○本人や家族の意向を大切に必要に応じて対応しています。家族に代わる受診同行や外出援助等を行っています。	
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	○警察、消防、民生委員、町内会長様には避難訓練、運営推進会議などで連携しながらご協力を頂いています。	○年に数回地域の高齢者を訪問し、お話を伺ったりしています。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	○ご利用者の希望で訪問マッサージや訪問歯科診療を利用しています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	○地域包括支援センターには挨拶にお伺いして運営推進会議の出席のお願い、空室状況などお知らせしています。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	○利用者ご家族の希望する医療機関で継続受診をしています。 ○居宅療養管理指導で定期的な往診を受けています ○基本的には受診や通院はご家族より支援を戴き、緊急時やご家族が都合のつかない場合は職員		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	○協力医療機関との定期的な往診や受診、適切な投薬、治療が来ています。 ○主治医の助言指導を参考にして職員のも理解、ケアのあり方を学んでいます。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	20年9月より医療連携加算を頂、日常の健康管理に一生懸命取り組んでいます。職員もご利用者の病気については、専門的な面から意見をもらえ日常的に安心して働く事ができます。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	○入院されたら生活情報や支援経過の提供を行い、早期に退院できるように医療機関と連携を取り症状、経過、退院予定の情報をもらい早期退院出来るようにしています。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	○病状悪化でグループホームで対応出来なくなった場合はご家族と相談しています。医療連携加算で重度化した場合も出来るだけ中山の里で診ていけるように医師、看護師、職員力を合わせていきます。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	○利用者の皆さんは高齢のため、起こりうる緊急時の対処方法を職員は地域の消防署より講習を受けている。(救急救命講座で通報訓練、骨折時の処置、心配蘇生法など) ○年々重度化していく利用者の今後のことは家族、主治医、福祉事務所と連携を取りながら話あっています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ 移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者 間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替 えによるダメージを防ぐことに努めている	○病気などで入院になった場合には家族や本人に 関わるケア関係者で十分な話し合いを持ちご家族 共々納得が得られ安心できるようにしています。		
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるよ うな言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り 扱いをしていない	○処遇会議、職員会議、スタッフ会議で常にプラ イドを傷つけない言葉かけや態度について話し合 い、又お互いに注意しあいながら日々の仕事をし ています。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり 、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決 めたり納得しながら暮らせるように支援をして いる	○ご利用者の意思を尊重して援助して行くよう にしています。(外出、お化粧、入浴、電話取次 ぎ等)		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではな く、一人ひとりのペースを大切に、その日を どのように過ごしたいか、希望にそって支援し ている	○ご利用者の要望やそのときの状態にあわせ活 動の声かけを行っています。毎日のように外出を 希望される方もいますが平等になるように努め ています。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができる ように支援し、理容・美容は本人の望む店に行 けるように努めている	○皆さんおしゃれ、お化粧が大好きです。職員 も皆さんが綺麗になるとうれしくて元気が出 ます。パーマ、カット毛染などは以前からの なじみの店に行かれる方もおり職員でお連 れしています。		
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひと りの好みや力を活かしながら、利用者と職員 が一緒に準備や食事、片付けをしている	○何時も食事が美味しいとお手伝いしながら 言っています。ゆっくり時間をかけて楽しみ ながら作り、いただき、片付けています。		○季節物の食材を使い行事食にも取り入 れ工夫し美味しく作っています

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	○焼酎は夕食時1杯、寝る前に1杯飲まれる方もおります。 ○おやつは希望に応じて好きなものを順次出しています。		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	○昼間、夜間の状態にあわせ失禁パンツ、リハビリパンツの使い分けをしています。 ○時間誘導や声掛けを行い又医師や看護師と相談しながら感下剤の調整を行うこともあります。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	○個人の希望にあわせ時間の調整をしています。 夜8時希望の方には夜勤の方が見守りしながら入ってもらっています。友達と入りたい方は2人で入られています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	○生活のリズムが出来るように昼、夜の更衣を支援しています。日中の様々な活動の中で快い疲れで安眠できるようにし適切な室温の調整にも気を配っています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	毎日の新聞を読むのを楽しみにされたり、レジャーカや音楽鑑賞（クラシック）映画（ビデオ）など希望にあわせ支援しています。 ○個人の能力に応じたお手伝い（掃除、家事、洗濯もの干したたみ）や計算、漢字などで力を発揮してもらい職員は感謝したり、励まされたりしています。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	○本人の希望、家族の意向で個人でお金を持って管理しておられる方もいます。千円～1万円以内です。 皆さんお金の大切なことは充分分かっており無駄使いはしないです。買い物は職員が同行しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの その日の希望にそって、戸外に出かけられるよ う支援している	○季節の行事、美味しい食べ歩き、ドライブ、買 い物等交代で不平等にならないように出かけてい ます。、		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないと ころに、個別あるいは他の利用者や家族ととも に出かけられる機会をつくり、支援している	○春は桜の花見、夏のソーメン流し、秋のコスモ ス見学を行事として団体で出かけ、個別処遇では 新鮮なお刺身やお寿司、焼肉等を外出をかねて東 市来あたりまで出かけています。ご家族はお彼岸 に墓参りや遠く徳之島まで連れて帰へられる方も います。		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、 手紙のやり取りができるように支援をしている	○携帯を持っている方もいます。電話で家族との 交流は大歓迎、手紙をお友達にかかれるかたもい ます。 ○電話の利用、取次ぎは自由に出来ます。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人た ちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過 せるよう工夫している	○面会時間の規制は無くご家族や友人も都合のい い時間に来てくださいます。居室でお茶を楽しま れたりホールで皆さんと過ごしたりされていま す。一緒にカラオケに行かれるかたもいます。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基 準における禁止の対象となる具体的な行為」を 正しく理解しており、身体拘束をしないケアに 取り組んでいる	○中山の里でも身体拘束をしないケアに取り組 み、禁止となっている行為を理解しています。利 用者の、人権、尊厳のある暮らしを支援していま す。		○身体拘束廃止委員会を中心に今後も勉 強会を重ね、拘束しない介護を継続して いきます。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に 鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をか けないケアに取り組んでいる	○以前鍵をかけたらご利用者が必死に外に出よう とされ、方針を変えてどこへでも出られるように オープンにしたら落ち着いて過ごされた事があり ました。。外出しそうなときは声かけして職員と 一緒に外出し、先取り介護に努めています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、 昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全 に配慮している	○職員は常にさりげない介護でご利用者の所在を 確認しています。日により時間により落ち着かな いときがあります。話しをしたり歌ったりしなが ら様子を見て過ごしても駄目な時は、ドライブや 買い物に誘い思いっきり気分転換を図っていま す。。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではな く、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取 組みをしている	○薬や洗剤、刃物の保管場所が決められており職 員は守っています。以前アルコール依存症の入居 者が毎晩包丁を探し、職員は非常に怖い思いをし ました。しっかりしまっており事なきを得た、良 い教訓になりました。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ ための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた 事故防止に取り組んでいる	○消火避難訓練、救急救命講座を谷山南分遣隊に お願いして講座を受けています。職員は利用者の 状態変化を把握して申し送り等で情報を生かして います。		○マニュアルを作成して恒に目の付くところ に掲示してあります。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職 員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っ ている	○職員は定期的に応急処置や緊急時の初期対応に ついて講習、訓練を受けています。(谷山南分遣 隊)		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わ ず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろ より地域の人々の協力を得られるよう働きかけ ている	○地域の消防署より避難訓練、通報訓練、初期消 火の実技訓練を年2回、行っています。近所には 訓練の度に挨拶に伺い協力を頂いています。又夜 間何かあったら見捨てることはしない一番に駆け つけると約束してくださっています。		○今年度は防災講習を開催します
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族 等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした 対応策を話し合っている	○起きそうなリスクについてはご家族来訪時に説 明しています。解放間のある安心の日々を送って 頂く様にしています。決して抑圧するようなこと はしません。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	○日々の健康観察、〔バイタル、排泄、食事量、皮膚状態等〕入浴時に異常は無いかなど細やかに観察し早期発見に努め、主治医とも連携しています。	
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	○服薬については個別に手渡し確実に服薬するまで確認しています。与薬時は名前用法等確認しています○病院からの情報、薬局からの情報を職員は確認し目的と副作用についても承知し用量、用法も守っています。	
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	○排便チェック表を作り記録しています。排便困難者は主治医と相談して運動、水分補給、繊維質の摂取に努めていますが、どうしても出ない時は緩下剤の使用もあります。庭に出て散歩や運動に心がけています。	
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	○毎食後の口腔ケア〔歯磨き、義歯洗浄、舌洗い〕を習慣として支援している。起床時のうがい、外出帰宅時のうがい、手洗いの励行をしています。	
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	○一人ひとりの嚥下状態に合わせて柔らかく煮たり刻んだりしています。摂取量は記録し、食事が進まないときは主治医に相談、エンシュアリキッドの希望もあり飲用される方もいます。	
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	○感染症に対する取り決めがあります。インフルエンザ予防接種についてはご家族、主治医と相談し早目の対応をしています。うがい、手洗いの励行をしています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台 所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全 な食材の使用と管理に努めている	○包丁まな板等調理用具は使用後食器乾燥機に入れその後は収納場所に入れ保管、何時も清潔な物を使用しています。定期的に漂白剤で消毒しています。食材はその都度買い物に出かけ新鮮なものを使用残り物は無いように盛り付けています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやす く、安心して出入りができるように、玄関や 建物周囲の工夫をしている	○庭には野菜や季節の草花等植えてあり気軽に入 れる雰囲気です。玄関内、外にも花が飾られてお り来られる方を暖かく迎える事が出来ます。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食 堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快 な音や光がないように配慮し、生活感や季節感 を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫 をしている	○一歩中に入ったら台所、食堂（ホールも兼ね る）が有り全体が見えて安心できます。 ○玄関入り口には季節の花が飾られ、壁画も皆さ んと作り季節感を感じられるように工夫してい ます。トイレ、浴室など水回りは汚れやすいこと を職員は心得常に清潔に心がけています。		○ホールから出入りできる広いベランダ もあり自由に行き来しています
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の 合った利用者同士で思い思いに過ごせるような 居場所の工夫をしている	○畳の間に冬はコタツが有り仲間同士で話がはず んでいます。一人になりたいときには居室でゆっ くり過ごされています。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と 相談しながら、使い慣れたものや好みのものを 活かして、本人が居心地よく過ごせるような工 夫をしている	○ご家族は色々有った方が安心できるのではと 持ってこられます。子供様の描いた絵を飾ること で、安心されている方もいます。荷物は全部しま い何も出していない方もいます。 ○日中は布団をたたみ居室に、チリなど放置され ないよう目配り気配りをしています		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気の上のよみがなく換 気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がな いよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに 行っている	○朝一番窓を開け新鮮な空気を入れます。職員は ご利用者に伺い冷暖房をつけています。自分で付 ける方もいます。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かし て、安全かつできるだけ自立した生活が送れる ように工夫している	○ホーム内は段差が無く廊下には手すりが付いて 歩行の自立、安全に役立っています。手摺で歩行 訓練や自立に向けた運動を職員と一緒に楽しみ ながら行っています。	
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かし、混乱や失 敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫してい る	○居室やトイレ、共用の場所にはご利用者が分 かりやすいように飾りや張り紙をしています。 ○居室には名札や印がついており、時計・カレ ンダーはご利用者の皆さんが目につきやすい 所に設置しています。	
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しん だり、活動できるように活かしている	○天気の良い日は日光浴を兼ねて園庭でお茶を 飲んだり、くつろぎの時間を過しています。外 庭は散歩も出来、畑の野菜や花々を見てくつろ げます。	

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目

項 目			回答
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない	①
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない	①
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	①
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	②
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	②
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	①

項 目			回答
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	①
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない	①
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない	②
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない	①
98	職員は、生き活きと働けている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない	①
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	①
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない	①

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

①入居者様の個性、状況に合わせ個別にきめ細やかなまごころ介護に取り組んでいます。いつも笑顔があふれています。

②看護師を配置、健康管理に勤め入居者様が健康で長生きできるように日々の観察で24時間安心があります。

③個々の嗜好、栄養、健康面を考慮し美味しい食事作りに職員と一緒に励んでいます。

④個別処遇週間を設け入居者様の希望を取り入れ、楽しみを持って生活できるように取り組んでいます。

⑤緑に囲まれた景色の良い場所で皆さんが伸び伸び暮らせる環境にあります。

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。（実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入）

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点]（アウトカム項目の後にある欄です）

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族＝家族に限定しています。

運営者＝事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員＝管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム＝管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目（No.1からNo.87）とサービスの成果（アウトカム）の項目（No.88からNo.100）の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名 (ユニット名)	グループホーム中山の里 2階
所在地 (県・市町村名)	鹿児島市上福元町5933番地
記入者名 (管理者)	永野 洋子
記入日	平成 21年 10 月 25日

(様式1)

自己評価票

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを 支えていくサービスとして、事業所独自の理念 をつくりあげている	○基本理念そのものが地域で暮らし続けるための 理念でグループホームホームの原点です。○あな たがあなたらしく生きることを家庭的な雰囲気 の中で暖かくサポートいたします。○あなたのある がまを受け入れて地域の中で普通の暮らしを送 ります。○仲良く楽しく暮らせるお手伝いをしま す。		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践 に向けて日々取り組んでいる	○基本理念を職場の目標として管理者、職員は力 を合わせご利用者の自立支援に取り組んでいま す。 ○ホーム内に掲示してあり毎朝の申し送り時は職 員で唱和しています。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続ける ことを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に 理解してもらえよう取り組んでいる	○基本理念を毎月のホーム便りに掲載しご家族の 皆さんにも基本理念の実践に取り組んでいること をお知らせしています。 ○施設入り口に掲示板を設置ホーム便りの掲示、 町内会の掲示板にもホーム便りを貼らせてもらっ ています。		
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ 合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような 日常的なつきあいができるように努めている	○母の日、夏祭り、敬老会等通じて地域の方々に 声かけしたら喜んで参加してくださり入居者の皆 さんとの交流を楽しみにして下さっております。 ○となりの畑の方より花、野菜の頂き物がありま す。		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員とし て、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加 し、地元の人々と交流することに努めている	○職員と共に子供会の夏休みラジオ体操参加、地 域の夏祭り参加、保育園との交流と常に地域の中 で暮らしていることを実感できています。 ○地域の中や近隣のホームとのお付き合いもあり 地域の一員として孤立することなく生活していま す。		○今年は夏祭りを夕暮れの頃より行い かき氷、スイカ割り、風船つりや盛大な 花火大会で近隣の方々にも好評でした。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	○運営推進会議で何か地域に役立つことはあるか検討し、民生委員さんの力を借りて母の日、敬老のお祝いに80歳以上の方に手作り赤飯を配り本当に喜んでいただきました。(15名)		○一人暮らしの高齢者の皆さん話相手がほしいことがよくわかりました。これからは訪問したり遊びに来て頂いたりして交流を深めます。○お返しに畑で取れたばかりのサツマイモを頂いたり交流を深めています
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	○自己評価、外部評価も今回で5回目です。マンネリにならないよう職員会議、スタッフ会議で評価の意義を理解して職員一同真剣に取り組みました。サービスの質の向上と自立支援に向けての取り組みで入居者様の安心、安全な暮らしを提供していきます。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	○地域の民生委員、町内会長、老人会、婦人会、家族、利用者様などに参加戴き、サービスの実際や行事、事故報告など行いご意見を伺っています。 ○自己評価、外部評価の報告ホーム内外の行事参加や利用者さまを交えて和やかにを行いサービス向上に努めています		運営推進会議での話から地域に貢献できることの話し合いで地域の80歳以上の皆さんに母の日、敬老の日に赤飯を配ることが出来ました。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	○保護の方が3名います。保護係りの方とは必要時相談を行っています。 ○介護相談員はいつでも受け入れます。現在まで4回来所戴いています。利用者様が相談されたことは検討して対応しています。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	○研修があれば職員の参加もよい勉強の機会として参加します。以前義理の親子間で後見制度の利用申請で病院受診、役所関係など協力しました。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	○高齢者虐待防止、身体拘束など起きないように勉強会をしています。 ○身体的なことのみでなく日常の言葉（言葉の暴力）使いにも職員同士でお互いに注意しています。		○年間研修予定表を作り予定表に基づき研修会を行なっています。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	○契約前のご家族様やご本人に見学がてら来所戴き不安に思われることや解からないことなど無い か伺っています。 ○契約時は重要事項説明書に基づき十分な説明を行い納得を戴いてから契約を交わしています。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	○入居者様には困りごとは無いかな常に伺っています また、入居者の皆さんには遠慮することなく何でも言ってお下さる様をお願いしています。	○職員会議や処遇会議を随時行い満足できるように対応しています。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	○毎月ホーム便りを発行し暮らしの様子や写真、会計報告、病院受診等を報告しています。 ○月2回居宅療養管理指導で病院の往診あり病状報告をしています。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	○ご家族の意見苦情はホームをより良くする貴重な意見として真摯に受け、すぐ対応できることは相談のうえ対処していきます。苦情箱の設置もあり職員や他の方から見えないところにあり、意見など入れやすいように配慮しています。	○なかなか苦情となると言えないのでは と思いこれからは相談ごとなど気軽に言えたり書く方法でアンケートなど考えています。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	○毎月の処遇会議、職員会議、スタッフ会議でスタッフの自由な意見や提案を聞き、運営に反映させています。参加できなかった職員には会議録で見てもらっています。 ○管理者は運営者と意思疎通を図り運営、経営共に伸びるよう努力しています。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	○利用者様の急な状態変化や職員の急な休みなど柔軟に対応し、それが出来る体制があります。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	○職員の離職、新規採用時は不安を与えることの無いよう紹介してより良い関係が築けるように業務を補ったりしており職員間の協力体制があります。 ○運営者は日ごろから利用者職員と良い関係が出来ており業務はスムーズに行えています。		
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	○人材育成のためグループホーム中山の里でも定期的に勉強会があり質の向上に努めています。 ○内部研修、外部研修の参加を奨励しています。		○年間研修予定表を作成しています。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	○谷山地区は福祉事業の多い区域で月1回の勉強会があり職員は進んで参加しています。近くに同業者が多く運営者職員は日常的に交流があります。 ○人材育成のため定期的に勉強会があり質の向上につなげています。		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	○運営者は職員の悩みや相談事をいつでも受け相談しやすいように努力しています。 ○管理者は職員に声かけを行い相談しやすいようにしています。また、定時に退社できるよう協力配慮しています。		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	○運営者は職員の働き振りを見て正しく評価しています。職員の資格取得に向けた支援を行っています。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	○相談の時点でご家族ご本人と逢い何を求め困っていることは何か良く伺い、不安の訴えには出来るだけ早く把握、解決できるよう努力しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	○見学来訪時にはご家族の求めている事不安なこと、日常生活の困りごとなどゆっくり話を伺い受け止めています。		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	○相談来訪時は切羽詰まった状況のときが多い。グループホーム満室のときはお隣の、デイサービスを紹介したり近隣のホームを紹介しています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	○入居者の希望が有った場合はご本人ご家族身近な関係者にホームを見学していただき納得して頂ける様に入居者の皆さんと一緒にお茶の時間を過ごしたりレクレーションの時間に参加していただいています。○入居後暫くは不安や緊張の中で過ごされていることを思い言葉かけやいろいろな場面で配慮しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	○年間を通し様々な行事などあり行事食は作り方を教えて戴いたり、行事の由来など聞いたりしながら一緒に作っています。		
28	○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	○ご家族は入居者の生活に欠かせない大切なメンバーである事を常々お伝えしています。面会時の素晴らしい笑顔には職員もかないません。		○面会に来られるたびに近況報告をしています。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	○入居者の皆さんは家族のことを何時も気にかけていることを家族にも伝えており、これからもより深い絆で結ばれるよう支援していきます。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	○入居前からお付き合いのあった方とのカラオケ参加やスポーツ大会（身障者バレーボール他）など自由に出かけています。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	○職員は利用者の不安な気持ちをしっかり受け止め基本理念に（仲良く楽しく暮らせるお手伝いをします）添い孤立せず支えあうよう努めています。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	○病院に入院され退院できなかった方には面会に行き励まし再度入居できるように手続きしております。 ○なくなられたご家族の方も訪問していただき入居者様職員も暖かく迎え思い出話等をしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	○利用者の思いや暮らしについて個別にゆっくり話を伺い、ホームでの暮らしがよりよくなるように努力しています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	○日々の会話の中でそれと無くどんな暮らしをして居られたのか聞いたりしますが過去の事には触れてもらいたく無いとはっきり言われる方も居ります。 ○職員は一番充実していた頃の出来事を話題にして話しやすい雰囲気を作り利用者様の理解に努めています。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	○毎日の記録、引継ぎ等から心身の状態、活動状況生活リズムを総合的に把握しています。個別のカンファレンスや現状を話し合い記録し、全職員が把握できるようにしています。		○看護師を配置、健康管理に努めています。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	○職員は利用者の視点に立って考えたり抱えている課題について気づいた事を出し合い記録して計画を作成しています。ご家族、入居前のケアマネ、医師にも相談しています。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	○状態変化時には（入退院時等）担当学会議を開き状態に合わせた計画を作成している。 ○本人がより良く暮らせるようにご家族にも意見を伺ったりしています。	
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	○日々の記録引継ぎで状態把握に努め変化があれば話し合い情報の共有に努め実践や介護計画に生かしています。 ○個人の支援記録、日常の記録、排泄、食事記録等を活用し実践にいかしています。	
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	○本人や家族の意向を大切に必要に応じて対応しています。家族に代わる受診同行や外出援助等を行っています。	
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	○警察、消防、民生委員、町内会長様には避難訓練、運営推進会議などで連携しながらご協力を頂いています。	○年に数回地域の高齢者を訪問し、お話を伺ったりしています。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	○ご利用者の希望で訪問マッサージや訪問歯科診療を利用しています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	○地域包括支援センターには挨拶にお伺いして運営推進会議の出席のお願い、空室状況などお知らせしています。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	○利用者ご家族の希望する医療機関で継続受診をしています。 ○居宅療養管理指導で定期的な往診を受けています ○基本的には受診や通院はご家族より支援を戴き、緊急時やご家族が都合のつかない場合は職員		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	○協力医療機関との定期的な往診や受診、適切な投薬、治療が来ています。 ○主治医の助言指導を参考にして職員のも理解、ケアのあり方を学んでいます。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	20年9月より医療連携加算を頂、日常の健康管理に一生懸命取り組んでいます。職員もご利用者の病気については、専門的な面から意見をもらえ日常的に安心して働く事ができます。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	○入院されたら生活情報や支援経過の提供を行い、早期に退院できるように医療機関と連携を取り症状、経過、退院予定の情報进行もらい早期退院出来るようにしています。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	○病状悪化でグループホームで対応出来なくなった場合はご家族と相談しています。医療連携加算で重度化した場合も出来るだけ中山の里で診ていけるように医師、看護師、職員力を合わせていきます。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	○利用者の皆さんは高齢のため、起こりうる緊急時の対処方法を職員は地域の消防署より講習を受けている。(救急救命講座で通報訓練、骨折時の処置、心配蘇生法など) ○年々重度化していく利用者の今後のことは家族、主治医、福祉事務所と連携を取りながら話あっています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ 移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者 間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替 えによるダメージを防ぐことに努めている	○病気などで入院になった場合には家族や本人に 関わるケア関係者で十分な話し合いを持ちご家族 共々納得が得られ安心できるようにしています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるよ うな言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り 扱いをしていない	○処遇会議、職員会議、スタッフ会議で常にプラ イドを傷つけない言葉かけや態度について話し合 い、又お互いに注意しあいながら日々の仕事をし ています。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり 、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決 めたり納得しながら暮らせるように支援をして いる	○ご利用者の意思を尊重して援助して行くよう にしています。(外出、お化粧、入浴、電話取次 ぎ等)		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではな く、一人ひとりのペースを大切に、その日を どのように過ごしたいか、希望にそって支援し ている	○ご利用者の要望やそのときの状態にあわせ活動 の声かけを行っています。毎日のように外出を希 望される方もいますが平等になるように努めてい ます。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができる ように支援し、理容・美容は本人の望む店に行 けるように努めている	○皆さんおしゃれ、お化粧が大好きです。職員も 皆さんが綺麗になるとうれしくて元気が出ます。 パーマ、カット毛染などは以前からのなじみの店 に行かれる方もおり職員でお連れしています。		
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとり の好みや力を活かしながら、利用者と職員が一 緒に準備や食事、片付けをしている	○何時も食事が美味しいとお手伝いしながら言っ てくださいます。ゆっくり時間をかけて楽しみな がら作り、いただき、片付けています。		○季節物の食材を使い、行事食等にも取 り入れ工夫して美味しく作っています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	○焼酎は夕食時1杯、寝る前に1杯飲まれる方もおります。。おやつは希望に応じて好みのものなど順次出しています。		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	○昼間、夜間の状態にあわせ失禁パンツ、リハビリパンツの使い分けをしています。時間誘導や声かけを行い医師や看護師と相談しながら緩下剤の調整を行うことも有ります。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	○個人の希望にあわせ時間の調整をしています。夜8時希望の方には夜勤の方が見守りしながら入ってもらっています。友達と入りたい方は2人で入られています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	○生活のリズムが出来るように昼、夜の更衣を支援しています。日中の様々な活動の中で快い疲れで安眠できるようにし適切な室温の調整にも気を配っています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	毎日の新聞を読むのを楽しみにされたり、レジャーカや音楽鑑賞（クラシック）映画（ビデオ）など希望にあわせ支援しています。 ○個人の能力に応じたお手伝い（掃除、家事、洗濯もの干したたみ）や計算、漢字などで力を発揮してもらい職員は感謝したり、励まされたりしています。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	○本人の希望、家族の意向で個人でお金を持って管理しておられる方もいます。千円～1万円以内です。 皆さんお金の大切なことは充分分かっており無駄使いはしないです。買い物は職員が同行しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	○季節の行事、美味しい食べ歩き、ドライブ、買い物等交代で不平等にならないように出かけています。、		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	○春は桜の花見、夏のソーメン流し、秋のコスモス見学を行事として団体で出かけ、個別処遇では新鮮なお刺身やお寿司、焼肉等を外出をかねて東市来あたりまで出かけています。ご家族はお彼岸に墓参りや遠く徳之島まで連れて帰へられる方もいます。		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	○携帯を持っている方もいます。電話で家族との交流は大歓迎、手紙をお友達にかかれるかたもいます。 ○電話の利用、取次ぎは自由に出来ます。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	○面会時間の規制は無くご家族や友人も都合のいい時間に来てくださいます。居室でお茶を楽しまれたりホールで皆さんと過ごしたりされています。一緒にカラオケに行かれるかたもいます。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	○中山の里でも身体拘束をしないケアに取り組み、禁止となっている行為を理解しています。利用者の、人権、尊厳のある暮らしを支援しています。		○身体拘束廃止委員会を中心に今後も勉強会を重ね、拘束しない介護を継続していきます。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	○以前鍵をかけたらご利用者が必死に外に出ようとされ、方針を変えてどこへでも出られるようにオープンにしたら落ち着いて過ごされた事がありました。。外出しそうなときは声かけして職員と一緒に外出し、先取り介護に努めています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、 昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全 に配慮している	○職員は常にさりげない介護でご利用者の所在を 確認しています。日により時間により落ち着かな いときがあります。話しをしたり歌ったりしなが ら様子を見て過ごしても駄目な時は、ドライブや 買い物に誘い思いっきり気分転換を図っていま す。。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではな く、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取 組みをしている	○薬や洗剤、刃物の保管場所が決められており職 員は守っています。以前アルコール依存症の入居 者が毎晩包丁を探し、職員は非常に怖い思いをし ました。しっかりしまっており事なきを得た、良 い教訓になりました。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ ための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた 事故防止に取り組んでいる	○消火避難訓練、救急救命講座を谷山南分遣隊に お願いして講座を受けています。職員は利用者の 状態変化を把握して申し送り等で情報を生かして います。		○マニュアルを作成して常に目のつく所に 掲示してあります。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職 員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っ ている	○職員は定期的に応急処置や緊急時の初期対応に ついて講習、訓練を受けています。(谷山南分遣 隊)		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わ ず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろ より地域の人々の協力を得られるよう働きかけ ている	○地域の消防署より避難訓練、通報訓練、初期消 火の実技訓練を年2回行なっています。近所には 訓練の度に挨拶に伺い協力を頂いています。又夜 間何かあったら見捨てることはしない一番に駆け つけると約束してくださっています。		○今年度は防災講習を開催します。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族 等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした 対応策を話し合っている	○起きそうなリスクについてはご家族来訪時に説 明しています。解放間のある安心の日々を送って 頂く様にしています。決して抑圧するようなこと はしません。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	○日々の健康観察、〔バイタル、排泄、食事量、皮膚状態等〕入浴時に異常は無いかなど細やかに観察し早期発見に努め、主治医とも連携しています。	
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	○服薬については個別に手渡し確実に服薬するまで確認しています。与薬時は名前用法等確認しています ○病院からの情報、薬局からの情報を職員は確認し目的と副作用についても承知し用量、用法も守っています	
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	○排便チェック表を作り記録しています。排便困難者は主治医と相談して運動、水分補給、繊維質の摂取に努めていますが、どうしても出ない時は緩下剤の使用もあります。庭に出て散歩や運動に心がけています。	
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	○毎食後の口腔ケア〔歯磨き、義歯洗浄、舌洗い〕を習慣として支援している。起床時のうがい、外出帰宅時のうがい、手洗いの励行をしています。	
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	○一人ひとりの嚥下状態に合わせて柔らかく煮たり刻んだりしています。摂取量は記録し、食事が進まないときは主治医に相談、エンシュアリキッドの希望もあり飲用される方もいます。	
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	○感染症に対する取り決めがあります。インフルエンザ予防接種についてはご家族、主治医と相談し早目の対応をしています。うがい、手洗いの励行をしています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台 所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全 な食材の使用と管理に努めている	○包丁まな板等調理用具は使用後食器乾燥機に入れその後は収納場所に入れ保管、何時も清潔な物を使用しています。定期的に漂白剤で消毒しています。食材はその都度買い物に出かけ新鮮なものを使用残り物は無いように盛り付けています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやす く、安心して出入りができるように、玄関や 建物周囲の工夫をしている	○庭には野菜や季節の草花等植えてあり気軽に入 れる雰囲気です。玄関内、外にも花が飾られてお り来られる方を暖かく迎える事が出来ます。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食 堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快 な音や光がないように配慮し、生活感や季節感 を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫 をしている	○一歩中に入ったら台所、食堂（ホールも兼ね る）が有り全体が見えて安心できます。 ○玄関入り口には季節の花が飾られ、壁画も皆さ んと作り季節感を感じられるように工夫してい ます。トイレ、浴室など水回りは汚れやすいこと を職員は心得常に清潔に心がけています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の 合った利用者同士で思い思いに過ごせるような 居場所の工夫をしている	○昼の間に冬はコタツが有り仲間同士で話がはず んでいます。一人になりたいときには居室でゆっ くり過ごされています。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と 相談しながら、使い慣れたものや好みのものを 活かして、本人が居心地よく過ごせるような工 夫をしている	○ご家族は色々有った方が安心できるのではと 持ってこられます。子供様の描いた絵を飾ること で、安心されている方もいます。荷物は全部しま い何も出していない方もいます。 ○日中は布団をたたみ居室に、チリなど放置され ないよう目配り気配りをしています		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気の上のよみがなく換 気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がな いよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに 行っている	○朝一番窓を開け新鮮な空気を入れます。職員は ご利用者に伺い冷暖房をつけています。自分で付 ける方もいます。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かし て、安全かつできるだけ自立した生活が送れる ように工夫している	○ホーム内は段差が無く廊下には手すりが付いて 歩行の自立、安全に役立っています。手摺で歩行 訓練や自立に向けた運動を職員と一緒に楽しみ ながら行っています。	
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失 敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫してい る	○居室やトイレ、共用の場所にはご利用者が分 かりやすいように飾りや張り紙をしています。 ○居室には名札や印がついており、時計・カレ ンダーはご利用者の皆さんが目につきやすい 所に設置しています。	
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しん だり、活動できるように活かしている	○天気の良い日は日光浴を兼ねて園庭でお茶を 飲んだり、くつろぎの時間を過しています。外 庭は散歩も出来、畑の野菜や花々を見てくつろ げます。	

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目

項 目			回答
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない	①
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない	①
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	①
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	②
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	②
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	①

項 目			回答
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	①
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない	①
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない	②
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない	②
98	職員は、生き活きと働けている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない	①
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	①
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない	①

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

①